

「バレーボール研究発刊にあたって」

バレーボール学会

会 長 朽堀 申二



バレーボールが誕生して100年の歳月が経ち、この間、誰でも、いつでも、どこでも親しめるスポーツとしてのバレーボールも、競技性の追求と国際化の中で、多くの人々に知られ行われるスポーツとして発展してきました。

私たちは、次の100年を目指し、バレーボールのほんとうの楽しさ、素晴らしさとは何か、どのように考え実践していくか、経験の上に更に科学の目を加えて、より多くの人々が自からの人生を豊かにしていくことのできるバレーボールを目標に、1995年5月バレーボール研究会を発足させました。今日まで数多くの内外の専門家からの特別講演、研究発表、シンポジウム、アゴラ等を通して、より深く、より広く、より多くの会員と検討を加え、研究を推進して来たのです。

1999年3月のバレーボール研究会総会に於いて更に一步前進する意味で「バレーボール学会」と名称を改め、これに加えて学会機関誌創刊号の発刊が実現することになったのです。

このことは、会員一同のたつての願いでもあり、日本におけるバレーボール研究の最も権威があり格調の高い機関誌になってほしいと意欲をもっている所です。

多くの方々が広い視野から様々な角度、立場から、各人の直面する得意とする分野からの研究成果をお寄せ下さり、本学会の研究業績の発表の場としてご活用願えれば幸甚と存じます。皆々様からのお力添えと厳しいご批判をお待ちいたします。

平成11年4月8日